

SRC研修コース

SRCのための調査活用セミナー

～開催結果のご報告～

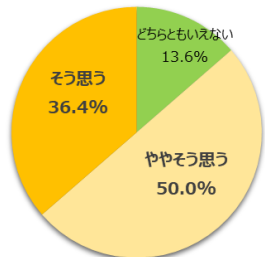
●開催日:2021年5月20日(木)
 ●会場:Web開催
 ●講師:(公社)国際経済労働研究所
 研究員 依藤 佳世

この度は「SRCのための調査活用セミナー」にご参加いただき、誠にありがとうございました。

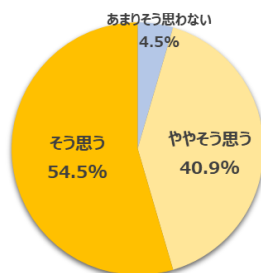
セミナー終了後に参加者の皆様にご記入いただいたアンケートをまとめましたので、開催結果としてご報告いたします。
 (出席者:25人 回答者数:22人)

アンケート集計

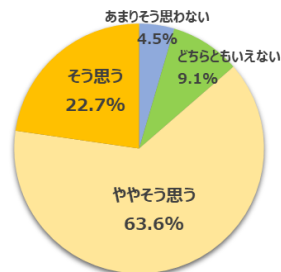
今回のセミナーへの期待は大きかったですか？



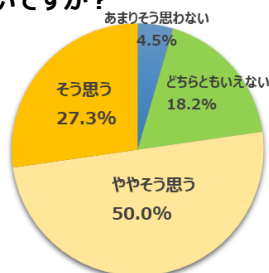
講師のレクチャーはわかりやすかったですか？



セミナー全体として満足されましたか？



今後同様のセミナーがあれば、他の組員(役員)も参加させたいですか？



感想コメント (気づき・ご意見)

- 意識調査の設計から活用法まで**全体を通して理解を深めることができた**。交渉に生かすことにウエイトをかけすぎている面もあるので、**課題解決に向けた解析とアクションを実行していきたい**。
- 調査を通じて何をしたいのか、また、目的と手段を常に意識して**集団での問題を洗い出すことの重要性をワークの実践を通じて認識することができた**。調査結果を今回のワーク形式で中央執行部に投げ掛け**具体的なアクションにつなげられるよう活用していきたい**と感じております。
- 分析とアクションの必要性について理解できた。あまり難しく考えすぎず、まず「問題意識」を持ちヒアリングを行いたい。**ヒアリングがオルグにもなることに気付くことが出来た**。
- 組織としてどうありたいか、何を知りたいかをしっかりと話し合った上で、慎重に設問を考えていきたいと思えます。また、**調査が単発の取り組みとならないよう、サイクルにできるよう活動していきたい**と思いました。
- 他労組の方と意見を出し合いながら、アクションを考えていく過程が面白く、**自分とは違った視点の意見を聞くことができて勉強になりました**。
- 今期予定のONION2の設計、および結果を受けての活動に**大変参考となりました**。
- ワークショップを通じて、**同じ調査結果でも受け手によって注目する点が変わり、フィードバックの手法も変わることがよくわかった**。
- 質問を周囲想定で問うことでより本音を吐き出すことができるという手法は**是非使っていきたいです**。
- ワークの時間をもう少し長くほしかったです。
- 普段聞き慣れない言葉や言い回しが多く、情報量もあって対応するのが精一杯でした。

その他にも多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。



【事務局より】

今回のセミナーは、12組織25名の方にご参加いただきました。昨年より始めたオンラインのセミナーも徐々に慣れてきたこともあり、今年からグループワークを交えたプログラムに改編して開催いたしました。他組織の方々とは話をすることは好評だった半面、情報が盛りだくさんで、やや消化不良になってしまったかもしれないと反省しております。皆さまには意識調査に取り組むにあたっての重要なポイントを今後の活動にぜひともお役にいただければ幸いです。

株式会社 応用社会心理学研究所
 (事務局:末田、藤原)
 〒540-0031
 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F
 Tel:06-6941-2171 Fax:06-6941-2081

